

令和6年度 学校評価書(共通) 後期

校名

宇和島市立天神小学校

1 自己評価書

教育目標	豊かな人間性を培い、たくましく生き抜く天神の子の育成				
基本方針	天神小学校の歴史と伝統を受け継ぎ、地域と協働して「生きる力」を育む教育を推進し、社会の変化に対応できる確かな学力を身に付け、心身ともに健やかで、主体性と実践力、郷土愛を身に付けた児童の育成に努める。				
本年度重点目標	1. 特色ある学校づくりの推進 2. 確かな学力を育てる教育の推進 3. 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進 4. 互いの人権を尊重する教育の推進と児童生徒の健全育成 5. 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化 6. 安全・安心で充実した教育環境の整備				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成	B	B
			・具体的な対策の実施	C	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	C	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	C	
・児童生徒アンケート			B		
⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	B	B	
		・保護者アンケート	B		
		・児童生徒アンケート	A		
<p>(成果と課題) ○学力診断調査の結果を踏まえ、具体的な対策の実施が不十分であるところに本校の課題がある。 ○ふるさとを愛する気持ちが育ってきていることが児童生徒アンケートから確認できる。公民館や地域と一体となって行う活動が活性化してきていることと連動している。</p> <p>(改善策等) ○学力向上につながる授業改善と丁寧な指導 ○合理的配慮や個別最適な学びの考えに基づく家庭学習の充実と保護者への啓発</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	A	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。 不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。 いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	③ 関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート	C	B
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	B	
	④ 自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	B	B
・児童アンケート			B		
・教師アンケート			C		
<p>(成果と課題) ○生徒指導主事を中心に、教職員間での情報共有や相談がなされ、いじめ事案等に対し、早期に対応・解決ができています。また、今年度はケース会議をタイムリーに実施することができた。</p> <p>(改善策等) ○グループ活動を充実させ、児童に目標、役割を持たせ、相互に高め合える集団意識を持たせる。 ○児童が感じている規範意識の向上を可視化し、積極的に保護者へ伝えていく。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート	C	C
			・「出勤・退庁調査」の分析と活用	C	
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。 休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B
・教師アンケート			B	B	
③ 他の教職員のサポート体制の充実	教職員同士が仕事を手助けしたり、スクールサポートスタッフ、地域人材などを積極的に活用したりして、職場の仕事のサポート体制が充実した。	・教師アンケート	B	B	
<p>(成果と課題)</p> <p>○働きやすい環境づくりの数値は昨年に比べ大きく上昇している。 ○ワーク・ライフ・バランスの向上が急務である。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○業務改善研修会で話し合った目標の遂行に努める。</p>					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。 学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	B	B
			・教師アンケート	B	
			・保護者アンケート	B	
② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	B	
		・保護者アンケート	B		
		・地域アンケート	A		
③ 来校・相談体制	来客・電話対応を丁寧に行い、保護者や地域の方々の声をしっかりと聞くことで、来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	A	B	
		・保護者アンケート	B		
		・地域アンケート	B		
<p>(成果と課題)</p> <p>○情報発信について、昨年度C評価であった地域アンケートがA評価に転じた。学校の思いが地域に伝わった成果である。 ○今年度、学校運営協議会に全教職員が一度以上参加する体制を整えた。その成果がアンケートにも少しずつ表れている。</p> <p>(改善策等)</p> <p>○3学期、6年生全児童(24名)が学校運営協議会に参加し、地域をよりよくするために何ができるのかについて熟議する予定。</p>					

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満